



2010年
No.625

4
月号



思い出胸に、旅立ちの日

3月19日、村内5つの小学校で卒業式が行われ、48人が6年間親しんだ学び舎を巣立ちました。真下享さんは山根小学校ただ1人の卒業生。保護者、先生、在校生、地域の方々に見守られ、堂々と小学校生活最後の式に臨みました。

主な内容

平成22年度 村長所信表明演述…2～9

安全で、安心して暮らすことのできる村づくりのために

- 新年度当初予算…10～11
- オドデ塾ふれあい演芸会に400人…12
- 4月からここが変わります…16
- 青少年海外派遣事業報告…18～21

安全で、安心して

暮らすことのできる

村づくりのために

第1回村議会定例会は3月5日から18日まで、役場本会議場で開かれました。議会初日に岩部村長は「安全で、安心して暮らすことのできる村づくりを進めていきたい」と所信を述べ、平成22年度の村づくり全般にわたる基本的な考えと主な施策を明らかにしました。ここでは、村長の所信表明演述の内容を紹介します。(2-9頁)

本日ここに、平成22年第1回九戸村議会定例会が開催され、平成22年度九戸村一般会計予算をはじめ、諸議案の審議をお願いするにあたり、今後の村政運営について、所信の一端を申し述べさせていただきます。

8月に行われました衆議院選挙の結果、政権が交代し、新政権は「コンパクトから人へ」の方針の下、新年度予算は、公共事業予算を18・

2%削減すると同時に、社会保障費を5・8%、文教科学費を5・2%増額し、地方交付税も1兆1千億円増とする予算を組んだようであります。

小規模自治体にとりまして、これらは大変ありがたいことではありますが、100年に一度といわれる不況から脱却できないまま、「円高」「株安」「デフレ」がセットで進行する経済の状況や、今日の国・地方の財政状況を考え

- | | |
|------|-----------|
| 第1章 | 総合発展計画・行革 |
| 第2章 | 農林業の振興 |
| 第3章 | 商工業の振興 |
| 第4章 | 緊急経済対策 |
| 第5章 | 生活基盤整備 |
| 第6章 | 道路交通整備 |
| 第7章 | 住宅整備の推進 |
| 第8章 | 福祉・医療の充実 |
| 第9章 | 環境衛生 |
| 第10章 | 教育の充実 |

ますと、将来的に楽観できる状況にはないものと思っております。

当村におきましても、基幹産業であります農業は、野菜が出荷額で前年度を上回ったものの、米の生産数量目標が減らされるなど、全体としては出荷額が減少し、商工業も全国的な不況の影響により、低迷が続いています。

このようなことから、今議会に提案させていただきました補正予算の緊急経済対策事業や新年度予算案の雇用対策事業、当村独自の農業・医療・福祉施策によりまして、「安全で、安心して暮らすことのできる村づくり」を進めて参りたいと考えております。

以下項目に従い、所信を述べさせていただきます。

第1章 総合発展計画・行革

新・九戸村総合発展計画作成 行財政改革大きな効果上げる

第1は、総合発展計画の実践と行財政改革の推進についてであります。

平成12年度に、村政の基本となります「九戸村総合発展計画（個性豊かな九戸村の創造）」を策定し、平成17年度には、18年度から22年度を計画期間とする「後期基本計画」を作成し具現化に努めて参りました。

現計画は、平成22年度で終了することから、進捗状況を検証し、議会をはじめ広範な村民の意見を伺いながら、夢と希望のある村づくりを進めるための「新九戸村総合発展計画」を作成し、住民生活に直結する村道や下水道整備を継続するとともに、「いわて希望農業担い手応援事業」などの農業振興をはじめ、各種事業を展開して参りたいと考えております。

次に、行財政改革の推進についてであります。当村では平成17年2月に「九戸村行財政改革プログラム」を作成し、多くの方々のご理解とご協力をいただきながら行政経費の徹底的な削減に努めてきたところであります。

その結果、本年度目標の650万円に対し4716万7千円の経費

削減効果が見込まれ、これに前年度までの、効果額を加えますと、2億8448万1千円となる見込みです。

基準年度であります平成16年度一般会計の起債発行残高は56億7439万8千円、各種基金の合計額は10億7276万1千円でしたが、本年度末の起債発行残高は40億6515万1千円、基金合計額は13億4035万7千円となる見込みで、起債残高は16億924万7千円の減、基金残高は2億6759万6千円の増になると見込んでおります。

このように、行財政改革は、議会をはじめ村民各位のご協力によりまして、大きな成果を上げることができましたが、行財政改革に終わりはなく、新たに平成22年度をスタートとする「第6次九戸村行財政改革大綱」を定め、実行計画となる「第2次九戸村行財政改革プログラム」を作成しました。引き続きご協力をお願い申し上げます。

第2章 農林業の振興

エコ・チャレンジ米生産拡大 安定した農業の確立を目指す

第2は、農林業の振興についてで

あります。

近年、食に対する安全・安心・安定供給を求める声が日々高まっておりますが、食料の多くを海外に依存する我が国におきましては、将来にわたって安全な食料を安定的に確保するため、農業の持続的な発展とその基盤である農村の振興を図ることが必要であります。

しかし、高齢化や混住化が進み、農業生産活動の停滞や集約機能の「まともり」が低下し、農地や農業施設等の適切な管理が困難な状況になりつつあります。

平成19年度からの「農地・水・環境保全向上対策」の継続、第3期目となる「中山間地域等直接支払制度」も、これまでと同様取り組んでいきたいと考えております。

農業後継者確保対策として、平成16年度に設立しました農業生産法人「株式会社ナインズファーム」を支援しながら、本村の農業後継者の育成・確保に努めて参ります。

次に、米の生産調整は平成19年度から農業者及び農業者団体が主体となつて、米の需給調整を行うシステムに移行され、「九戸村水田農業推進協議会」を設立し、米の生産調整に取り組んできたところであります。

県から提示された平成22年度産米の生産数量目標は、184万3130

kgで、面積に換算しますと367鈴となり、前年度に比較し5鈴の減となります。

新年度から米の生産調整は、市町村としての達成から、基本的には個人としての達成にウエートが移ることになります。米の需給が適正規模で行われるよう、村としても関係機関の協力を得ながら、生産数量目標内での作付けとなるよう農家の理解を求めて参りたいと考えております。

また、本格実施に先駆けて、新年度からモデル的にスタートする戸別所得補償制度モデル対策につきましても、水田農家の不安や混乱が広がらないよう、農政事務所や関係機関と連携を図りながら、制度の周知に努めるとともに、「水田経営所得安定対策」についても、引き続き取り組んで参ります。

平成20年度から肥料と農薬使用回数約半分に低減した「エコ・チャレンジ米」の生産に取り組み、安全安心な農産物としての需要は多く、県の生産団地指定を受けた、もち米の「かぐやもち」とともに、生産面積の拡大を目指して参ります。

野菜等の園芸振興につきましても、昨年は7月の強風、8月中旬以降の低温と日照不足、10月の台風18号など天候不順に悩まされたシーズンと

なりました。

出荷量は、前年比88%と落ち込みましたが、出荷額は平成20年度の価格が大幅に下落していたこともあり前年比113%となりました。しかし、夏秋トマトは前年度に比べ出荷量で28%、出荷額で38%伸びたものの、主要品目のピーマンは、2年連続で1億円の大台に届かず、リンドウも出荷量、出荷額とも対前年比約15%の減となりました。

新年度におきましても、村園芸産地確立サポートセンターを中心に、ピーマンをはじめとした主要重点推進作物4品目及びリンドウを中心とした花卉等の高収益作物について、新規栽培者の掘り起こしに努めるなど、栽培面積の拡大を図り安定した生産量の確保を目指して参ります。

また、新技術の導入や新品目の開拓等について、関係機関・団体の指導のもとに推進を図り、優良産地化と魅力ある安定した農業経営を確立するための取り組みを強化して参りたいと考えております。

畜産振興につきましても、和牛子牛価格が低迷し、農家の経営は依然として厳しい状況にあります。

生産コスト削減のため公共牧場の役割が重要と考え、戸田牧野のPR等に努め農家の方々から、大いに利用していただけるよう努力して参り

たいと考えております。

次に、林業振興についてですが、森林・林業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。森林の持つ多面的機能を維持し、将来の木材需要の増大に対応できる森林施策が重要であります。

本年度も、国・県の事業を活用しながら森林整備を推進したいと考えております。



昨年はホルスタイン種 21 頭と黒毛和種 34 頭が放牧されました
(5月8日・戸田牧野開牧)

第3章 商工業の振興

商店街振興の中心施設建設 地場企業の経営拡大を支援

第3は、商工業の振興についてであります。

全国的な不況が長期化する中で、地域経済も低迷を続け、当村の小売業は、所得環境の悪化に伴う買い控えや購買力の村外流出によって、厳しい経営を余儀なくされております。

1 地域活性化・きめ細かな臨時交付金

(単位・千円)

事業名	内 容	事業費
村道等維持補修事業	村道 10 路線の補修ほか	16,859
村道改良舗装事業	田代石神田改良 200 m	28,489
若者向け住宅整備事業	3 棟新築	49,176
公共施設トイレ改修事業	ふれあい広場ほか 3 施設 トイレ改修	2,940
合 計		97,464

新年度も「中小企業金融対策利子補給事業」を継続しながら、これまでどおり村が購入する物品、発注する工事はできるだけ地元業者を優先して参りたいと考えております。

補正予算に計上しました各種緊急経済対策事業の早期発注と「まちの駅」につきましては、関係者の皆さんと議論を進め、商店街振興のための核となる施設を建設したいと考えております。また、建築業の方々に、リフォームやバリアフリーに対する

2 地域活性化・公共投資臨時交付金

(単位・千円)

事業名	内 容	事業費
情報通信基盤整備事業	光ファイバー網整備	338,439
森林環境保全事業	林道橋調査	131
保育園建設事業	1 式	192,000
集落道整備事業	52 m	20,000
まちの駅整備事業	1 式	115,000
除雪機械導入	1 式	23,000
合 計		688,570

助成制度を周知しながら、営業努力を喚起して参ります。

次に、企業誘致についてであります。残念ながら本年度、当村に立地した企業はありませんでしたが、第2クリーンセンターが昨年4月から本格的に営業運転を開始しました。現在、従業員数は28人で、本社から転勤の5人、近隣市町村11人、村内在住者は12人となっているようでありま。このように、一つの工場が立地されますと雇用面で大きな成果

がありますので、引き続き企業誘致に向けて努力したいと考えております。

しかし、今日の経済情勢を考えますと企業誘致は、大変難しい時代となつていきますので、今後は、企業を呼ぶだけではなく、地場企業の経営拡大を支援していくことも、一つの方法だと考えております。

第4章 緊急経済対策

臨時交付金85335万円、経済活性化が期待される事業を

第4は、緊急経済対策についてであります。

政府は長引く不況に対し、昨年度から度々緊急経済対策を講じておりますが、今年度も「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」が創設され、当村への配分は85335万8千円となる見込みでございます。また、併せて、「地域活性化・公共投資臨時交付金」により、経済波及効果が期待される事業を実施したいと考えております。

具体的には、以下の通りです(※上表)。関係予算を今議会に提案させていただきますましたので、ご理解賜りますようお願いいたします。

第5章 生活基盤の整備

九戸中学校地区管渠工事施行 整備進め水洗化率の向上を図る

第5は、暮らしやすい生活を支える機能・施設の充実についてであります。

安全、安心な飲料水を供給する水道事業につきましては、本年度も適切な施設管理に努めるとともに、地理的な条件等で上水道の整備が遅れている地域の飲料水確保のために、水道未普及地域飲料水確保対策事業を進めて参ります。

快適な生活基盤を提供する下水道事業につきましては、新年度に九戸中学校地区管渠工事の施工と舗装本復旧を実施することとしております。また、平成23年度以降、二ツ家地区への下水道区域拡張を計画し、下水道事業の変更認可手続きを実施することとしております。

合併処理浄化槽については、下水道農集排整備地区以外の地区の生活環境の向上を図るため、今後も普及に努めながら、新年度も補助事業を継続し、整備を進めたいと考えております。

また、これまで下水道、農集排で整備した地区におきましては、環境に対する意識を喚起しながら、水洗化率の向上を図って参ります。

第6章 道路交通の整備

生活に密着した道路網の整備 村道戸田石沢線1・5車線化

第6は、人・生活・経済を結ぶネットワーク交通網の整備についてであります。

村内の道路整備率は、改良率・舗装率とも県内平均を大きく上回る整備率となっております。村民の生活交通路及び産業交通路は確保されていると思っております。

しかし、車両の大型化や自家用車保有台数の増加等に伴い、一部の村道や生活道には整備の必要な路線が残っておりますので、今後とも生活に密着した道路網の整備を進めたいと考えております。

新年度におきましては、大型車の交通量が多い村道細屋五枚橋線の二車線改良舗装工事、生活に密着した路線として、村道中雪屋大雪屋線などを引き続き実施するほか、新たに村道戸田石沢線の1・5車線化を進めたいと考えております。

また、村道田代石神田線につきましては、補正予算に計上しておりますが、ご承認いただければ、繰越事業により改良舗装工事を進め早期整備を図ります。

生活道に関しましては、簡易舗装

工事や側溝布設工事により順次整備を進めて参ります。また、村道等の維持修繕経費を節減するため、切削材による舗装工事や路面補修作業を地区住民との協働により進めて参ります。

国道340号の整備につきましては、今回、二戸地方振興局土木部で山根地区歩道整備、泥ノ木地区改良整備の調査測量を実施し関係者の了解を得まして、22年度は土地建物等の調査測量と用地補償を進め、平成24年度の工事を予定しているようであります。

また、長興寺地区、戸田地区、道地区の歩道未設置区間につきましても、安全確保のため早期整備を国・県へ強く働きかけて参ります。

第7章 住宅整備の推進

9団地101戸の建替え完了 若者向け住宅の建設を目指す

第7は、定住者拡大に向けた住宅整備の推進についてであります。

村営住宅につきましては、本年度第2川向団地12戸の工事が完成し、平成2年から実施しておりました9団地101戸の建替えが全て完了し、安全で快適な住宅環境が整ったものと思っております。



9団地101戸すべての村営住宅の建替えが終了（写真は長興寺団地）

村営住宅の村内全世帯数に対する割合は4・65%となっております。県内の市町村平均を大きく上回っておりますが、民間の貸家、アパート等が村内に少ないこともありまして、若年層を中心に村営住宅の人居希望者が増加しております。

これに対処するため、今議会に提案させていただきました「地域活性化・きめ細かな対策臨時交付金」によりまして、若者向け住宅を建設したいと考えておりますので、ご理解

賜りますようお願いいたします。

また、高齢者、環境にやさしい住宅を目指す、公共下水道への接続を進めてまいりましたが、本年度、小倉団地7戸の接続工事を完了し、下水道区域及び集落排水区域内の7団地86戸全てが水洗化され、快適な住環境が確保されたものと思っております。残る江刺家団地・山根団地の15戸につきましては、全体のリフォームも考慮しながら順次進めてまいりたいと考えております。



医療費助成、ハッピーファミリー祝い金交付、放課後児童クラブの充実など、子育て支援を継続します（6月6日・年長児親子運動会）

20年度から実施しております住宅リフォーム助成事業は、本年度から新築住宅も対象に加えたところでありますが、新年度におきましても、住環境の向上と商業振興にも寄与することを目的に事業を継続して参ります。

第8章 福祉・医療の充実

医療費助成等子育て支援継続 交付金で3保育施設改築予定

第8は、保健、医療、福祉サービスについてであります。少子高齢化が進む中、健康で明るく元気に生活できる社会実現のため、子供の健康づくり、壮年死亡の減少

健康寿命の延伸と、健康に関する質の向上を目指した保健活動を進めて参ります。

子供の健康づくりにつきましては、引き続き乳幼児健診や5歳児の健診を行い、発達障害のある児童の早期発見と支援を行うとともに、母体や胎児の健康を確保するため、妊娠・出産にかかる経済不安の軽減をはかり、子育てを支援して参ります。

また、がんによる死亡率が依然として高いため、胃がんなどの各種がん検診を引き続き実施し、早期発見早期治療を促し、壮年死亡の減少に努めて参ります。

特定検診・特定保健指導につきましては、メタボリックシンドローム対象者と予備群を選定し、早期に改善を図るための保健指導を行い、生活習慣病の予防に努めて参ります。

児童福祉につきましては、今年2月1日現在の出生数が31人、一方、同日現在の高齢化率は、昨年度の同時期に比べ0.2ポイント上昇し34.0%となり、少子高齢化がさらに進行しております。

子育てを支援するための医療費の助成について、平成20年10月から助成対象を中学生まで拡大し、村内医療機関のみならず、全ての医療機関での一部負担金を助成対象としています。

今後も子育てを支援するため、ハッ

ピーファミリー祝い金の交付、放課後児童クラブの充実、医療費の助成などを継続するとともに、新年度から支給されます子ども手当につきましては、6月の交付に向けて準備を進めてお参ります。

また、子育て支援の中心となる保育施設について、伊保内幼稚園、江刺家保育園、長興寺保育園は、建設から40年近くが経過し、改築時期を迎えており、この度、「地域活性化・公共投資臨時交付金」を活用し建設計画を立てました。

建設場所や施設整備の内容等につきまして、関係者と協議をし、村の未来を担う子どもたちの、より良い環境づくりに努めて参ります。

障害者福祉につきましては、「地域活動支援センターエール」で、障害者の創作的活動や生産活動など様々な活動を支援して参ります。

また、自立支援給付費や高齢者・障害者にやさしい住まいづくり事業、あるいは村単の助成事業により、引き続き障害者の生活を支援して参ります。

本年1月末の介護保険第1号被保険者（65歳以上）は2291人で、うち、要介護等の認定者数は366人となっております。介護給付費等の伸び率を抑制するため施設介護から在宅介護へシフトの転換が図られておりますが、施設入所の待機者への対策も

課題となっております。

平成18年度の介護保険法の改正に伴い、二戸広域が実施してきた「いきいき健康教室」、「転倒予防教室」などの二戸地域保健福祉活動推進事業は、現在、村の地域支援事業として実施しております。今後も引き続き、村民のニーズに応じた事業として実施して参ります。

「地域包括支援センター」では、高齢者が住みなれた地域で安心して生活ができるように、高齢者のニーズや状態の変化に応じて、切れ目無く必要なサービスが提供される「地域包括ケア」や、介護度が重症化しないよう「予防重視型」の介護予防に努めて参ります。

国保特別会計は、被保険者の所得額が年々減少しており、今後とも厳しい財政運営となることが予想されます。

医療費の伸びを抑制する国の医療費適正化計画の中で、現在実施しておりますメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した、特定健診・特定保健指導は、生活習慣病の発症を未然に防ぐために、健診によってメタボリックシンドロームの該当者及び予備群を見つけ、平成24年度までに10%減少させることとなっております。国保被保険者に対する特定健康診査や特定保健指導を行い、安心して健康で明るく暮らせるよう、村民の健康増

進に努めて参ります。

第9章 環境衛生

ごみ収集量横ばい・減少傾向 啓発表示板で不法投棄防止を

第9は、環境衛生についてであります。

快適で住みよい生活環境創造のため、大量消費、大量廃棄のライフスタイルを見直し、循環型社会の形成が求められております。このため、「リデュース・リユース・リサイクル」の3R(スリーアール)運動を推進し、ごみ収集処理量は増加傾向から横ばい・減少傾向となっております。

ごみ問題は、日常生活に密接に関わる重要な問題であり、村民一人ひとりの取り組みとご協力のもとに、ごみの減量化に努めてまいります。

ごみの不法投棄防止につきまして、村衛生組合連合会などのご協力を頂き、不法投棄防止啓発表示板の設置を行うとともに、クリーン九戸行動日などのイベントを実施し、環境美化に努めて参ります。

二戸・久慈地区の一般廃棄物処理について、構成8市町村によって「久慈・二戸地区ごみ処理広域化準備協議会」を設置し、ごみ処理の広域化について協議をしてきましたが、新

第10章 教育の充実

小学5・6年の英語教育を推進 伊保内高校存続に向けて努力

第10は、教育の充実についてであります。

年度から新たに一部事務組合を設置し、平成30年度のゴミ処理施設稼働に向けて取り組んでいくこととなっております。



毎年多くの団体が参加し、ごみ拾いに汗を流すクリーン行動日(4月19日)

学校教育充実のため、本年度も小學校への教育用パソコンを導入します。また、小学校5・6年生に英語の授業が導入されていますが、児童が英語に慣れ親しむようサポーターを配置し、外国語教育を推進します。

児童生徒が学ぶことや働くこと、生きることの尊さについて考え、自らの生き方や将来の進路を主体的に考える態度や能力を育てる教育が求められています。

児童生徒の発達段階に応じた組織



村唯一の高等教育機関として、地域の期待が寄せられる伊保内高等学校。生徒の確保に取り組みます(10月3日・伊保内高等学校創立60周年記念式典)

的・系統的なキャリア教育や学校現場の多忙観を解消しながら、コーディネーターの連絡調整のもとに、地域住民がボランティアとして学校の教育活動を支援する体制づくりの「学校支援地域本部事業」を実施して参ります。さらに、特別支援が必要な児童・生徒には、特別支援教育の充実に努めて参ります。

平成19年度から全校で行なわれた

全国学力調査・学習定着度調査は、新年度から30%抽出調査となりますが、今までの調査を活用しながら、各発達段階での基礎的・基本的内容の確実な習得を目指して参ります。また、学校評議員制度及び学校評価制度を継続し、学校運営に家庭や地域の意見等を反映させる取組みを進めて参ります。

県立伊保内高等学校は、村にとつ

て唯一の高等教育機関であり、新年度も2学級を確保できる見込みとなっておりますが、生徒確保に村民のご理解ご協力を頂くよう努め、伊保内高校存続に向けて積極的に取り組んで参ります。

多様な生涯学習活動の推進を図るため、各種学級や講座の開設、サークルの育成に努め、様々な学習機会を提供するとともに、図書の実用しやすき公民館を目指して参ります。

また、「住みたくなる地域づくり活動補助金」や「集落環境整備事業補助金」を利用した明るく活力のある協働の村づくりや環境美化運動など村民憲章の具現化を一層推進して参ります。

新年度も、「村民一人一つのスポーツを」をスローガンに各種大会やスポーツ教室を開催し、競技力の向上とスポーツの生活化を推進したいと考えております。

また、体育センターのトレーニング機器の設置によりスポーツセンターとしての機能が大きく向上しますので、多くの村民に利用していただきたいと思ひます。

生活に潤いと充実感をもたらす文化活動として、村民が主体的に文化に親しみ、文化を創造していく環境

づくりと芸術文化団体の活動を支援して参ります。

また、旧宇堂口小学校を郷土資料館的に活用し、遺跡からの出土品や、民具などの資料を集め一般に公開していきたいと思ひます。黒山の昔穴は、更に国の指定を目指すための環境整備を進めてまいりますし、民俗芸能や村指定文化財の保護保存と、埋蔵文化財の発掘調査を進め、先人が築いた優れた文化を公開することにより、自分の住む地域に誇りと自信を持ちながら後世に伝えていく活動を進めて参ります。

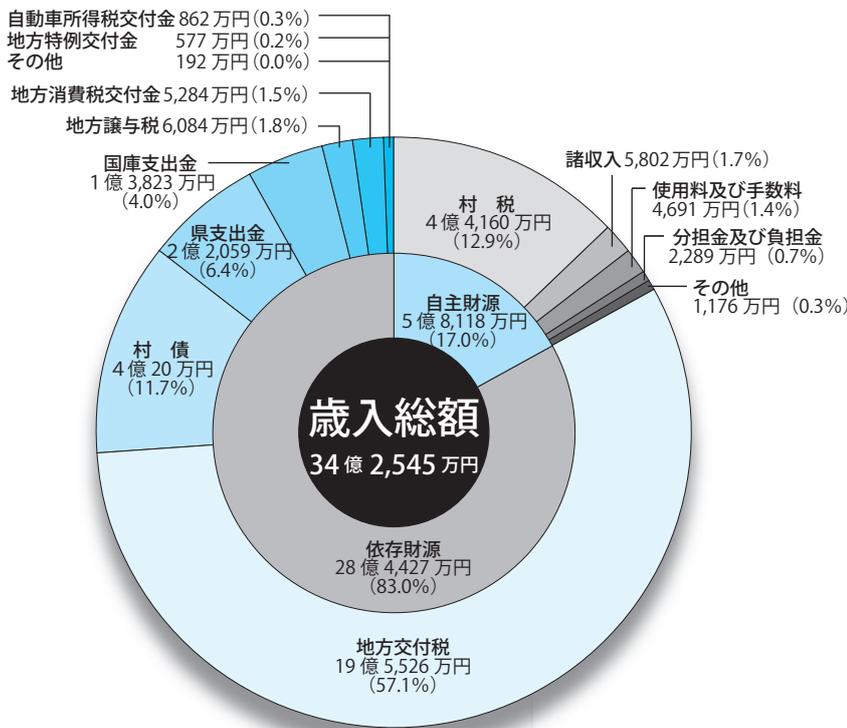
* * * * *

以上のとおり、村政運営の課題と重点施策を申し述べさせていただきましたが、厳しい行財政環境の中でも健全財政を維持しながら、村民に信頼される行政を築いていかなければならないものと決意を新たにしております。

終わりにあたり、村民をはじめ議会の皆様の村政に対するご協力に深く感謝申し上げますとともに、提出いたしました議案につきましても、ご理解賜りますようお願い申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。

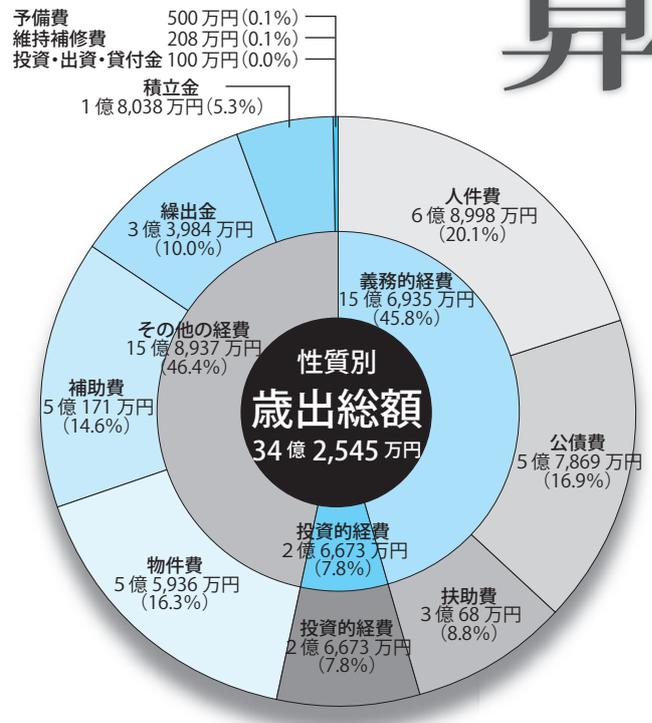
当初予算

平成22年度の村の予算は、総合発展計画が目指す「個性豊かな九戸村の創造」の実現に向けて、予算編成が行われました。一般会計当初予算は前年度より3.0%多い、34億2,545万円となっています。ここでは、予算内容のあらましをお伝えします。



用語解説

- 【地方交付税】** 全国の市町村のサービスが一定水準になるように、財政力に応じて国から配分されるお金。
 - 【村債】** 村が国などから借りるお金。
 - 【扶助費】** 生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法などの法令に基づいて支出する経費。
 - 【公債費】** 村債（借金）の返済に充てるお金。
 - 【物件費】** 委託料、賃金、旅費、役務費など。
 - 【投資的経費】** 道路の建設などのように、施設が将来に残るものに対する経費。
 - 【義務的経費】** 人件費や扶助費などのように、村の機能を維持していくために必ず支払わなければならない経費。この割合が増えると、村が自由に使えるお金が少なくなり、財政の健全上で重要な目安となる。
 - 【自主財源】** 村が自主的に収入することができる財源。
 - 【依存財源】** 国や県の意思によって定められた額を交付される財源。
- ※金額は項目ごとに千円単位で四捨五入しているため、計と内訳が一致しないことがあります。



■一般会計は3.0%増

平成22年度の一般会計当初予算は、昨年度当初予算を1億24万円（3.0%）上回る、34億2,545万円となりました。また、一般会計に特別会計や水道事業会計を加えた総予算は46億2,407万円（3財産区特別会計は除く）で、昨年度より1億2,895万円、2.9%多くなっています。

■歳入 地方交付税が6割

一般会計予算の歳入（村に入ってくるお金）を見ると、地方交付税が19億5,526万円で全体の57.1%（昨年度比3.9%増）を占めてトップ。次いで村税、村債、県支出金と続きます。

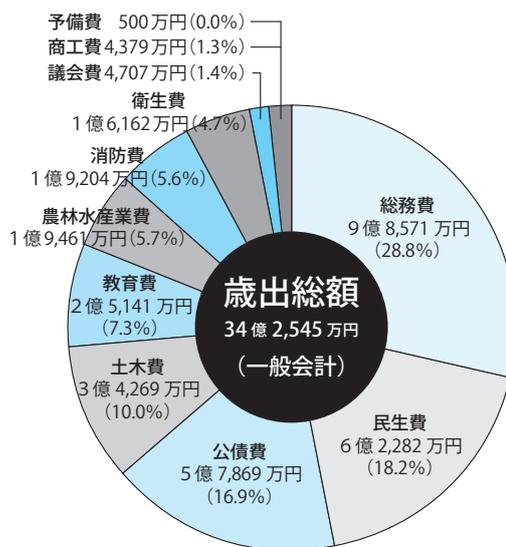
自主財源は、昨年度より542万円増えて5億8,118万円です。

依存財源は、昨年度より9483万円増加。国庫支出金が子ども手当国庫負担金6970万円増などにより4867万円（54.3%）の増。県支出金が森林整備地域活動支援補助金2425万円増、緊急雇用創出事業補助金1720万円増などにより5771万円（35.4%）の増となりました。また、村債は道路

主な投資的事業

庁舎管理（渡り廊下改修工事）	755万円
高齢者・障害者にやさしい住まいづくり推進事業	240万円
合併処理浄化槽整備事業補助金交付事業	964万円
いわて希望農業担い手応援事業	1,187万円
基幹水利施設ストックマネジメント事業	1,013万円
畜産基盤再編総合整備事業（草地造成）	765万円
農業生産基盤整備事業	500万円
ふるさと振興公社委託事業	1,762万円
住宅リフォーム助成事業	300万円
道路維持補修事業	730万円
村道新設改良事業（村道高屋敷山形線ほか）	1億6,527万円
小型動力ポンプ積載車更新事業	840万円
学習用パソコン整備事業	550万円
下水道事業（553号線ほか管渠工事など）	1,430万円
施設改良事業（荒田地区配水管布設工事ほか）	886万円

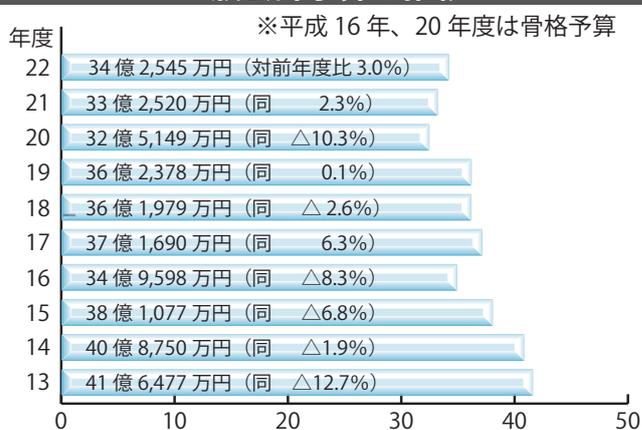
目的別歳出の内訳



各会計別の予算と伸び率 (△はマイナス)

会計名	平成22年度	平成21年度	伸び率
一般会計	34億2,545万円	33億2,520万円	3.0%
特別会計			
国民健康保険	7億8,646万円	7億4,739万円	5.2%
老人保健	290万円	305万円	△4.8%
後期高齢者医療	4,730万円	5,245万円	△9.8%
農業集落排水事業	2,970万円	3,097万円	△4.1%
下水道事業	1億4,430万円	1億4,764万円	1.0%
索道事業	3,065万円	3,269万円	△6.3%
戸田財産区	954万円	490万円	94.7%
伊保内財産区	1,165万円	957万円	21.7%
江刺家財産区	655万円	694万円	5.7%
水道事業	1億5,731万円	1億5,573万円	△
合計	46億5,181万円	45億1,653万円	3.0%

一般会計予算の推移



水道事業会計予算の内訳

- ◆収益的収入・支出（1年間の損益取引）
 - ・収入…1億1,600万円
 - ・支出…1億1,600万円
 - ◆資本的収入・支出（投下資本の増減に関する取引）
 - ・収入…5,794万円
 - ・支出…4億1,308万円
- ※収入不足の3億5,514万円は過年度分損益勘定留保資金等で補てんされます。

村民1人あたりの…

- 予算額 **50万9,436円**
(前年度 47万9,274円)
- 村民税 **6万5,675円**
(同 6万1,698円)
- 借金(村債)残高 **60万4,573円**
(同 63万4,156円)

※数値は一般会計。人口は6,724人（平成22年2月末現在住民基本台帳人口）、村債は22年度当初の残高見込みで計算。

■歳出 総務費がトップ29%
歳出を性質別に見ると、人件費や公債費、扶助費を合わせた義務的経費が9.2%減の15億6,935万円、これにその他の経費を加えた一般行政経費は31億5,872万円となり、前年度より1.7%増加しました。投資的経費は前年度より45,922万円（20.8%）増となる2億6,673万円となりました。目的別では、財政調整基金積立金1億8,000万円増を含む総務費（住民サービスや一般事務など）が1億8,950万円（23.8%）増の9億8,571万円となり、全体の28.8%を占めトップ。続いて、子ども手当などが増えた民生費（福祉や保育園など）。昨年度繰上償還を実施した公債費は、2億1,807万円（27.4%）と大幅な減となる5億7,869万円となりました。

多彩な演芸、地域を結ぶ

オドデ塾ふれあい演芸まつり

①妻川祐樹くんと池田大樹くん（伊保内高）は息の合った踊りを発表②大きな笑いが起きたコント「オドデだよー全員集合」③兄弟3人で大人顔負けの「剣山」を披露した下川原祐汰くん、凱斗くん、一将くん（長興寺小）



第16回オドデ塾ふれあい演芸まつりは3月7日、江刺家小学校体育館で開催され、406人の来場者が踊りや演劇を楽しみました。

小松智樹塾長は「保育園児から高校生まで出演してくれるのは、世代間交流をモットーとするオドデ塾として、とても嬉しいこと。若者がこの地区に残ったり、戻りたくなるような地域づくりを目指して頑張ります」とあいさつ。

保育園児から婦人会まで幅広い年齢層の出演者が6時間にわたり、40の演目を熱演しました。踊りのほかにも戦時中の家族をテーマにした演劇、授業中の教室を舞台に繰り広げられるコント、円子よさこい組「どっこいしょ」（軽米町）の特別出演など盛りだくさんの内容。家族や地域の人同士が共に楽しめる演芸会となりました。

園庭に大きな虎が現れた!?

中村さん・佐々木さんが雪像制作

中村末市さん（伊保内上）と佐々木弘志さん（伊保内下）が伊保内保育園の園庭に、今年の干支にちなんだ虎の雪像を制作しました。

2人が雪像を作り始めたのは2月13日。暖かい日が続いたため、何度か手直しに訪れました。

2月19日に保育園を訪れた中村さんと佐々木さんは、園児と一緒に昼食の時間を過ごし、交流を深めていました。



トラの雪像を囲んで、はいポーズ!



給食風どさんこ汁、もうすぐできあがり!

テーマは「栄養満点の学校給食」

瀬月内自治会が料理講習会を開催

2月21日、瀬月内自治会（夏井謙一会長）が瀬月内集落センターで料理講習会を開催しました。

村給食センターの栄養士・^{よしこ}館慈子さんを講師に迎え、「家庭で作れる栄養満点の学校給食」をテーマに、どさんこ汁やタンドリーチキンなどを製作。館さんは「子どもは体が基本。“食”に関心をもってください」と食育への協力を呼びかけていました。

門出を祝う、真心こもったプレゼント

稲森源右工門さんが卒業生にガマ細工贈る



ガマ細工を制作した稲森さんを囲む、長興寺小の卒業生と内田孝司校長

3月9日、今年97歳を迎える稲森源右工門さん（長興寺下）が長興寺小学校の6年生11人に、ふくろうのガマ細工を贈りました。

稲森さんが長興寺小の卒業生にガマ細工を贈るのは、今年で6回目。昔から物を作ることが好きだったという稲森さんの作業小屋には、ガマ細工の他にも木彫り、わら細工などがずらりと並んでいます。稲森さんは自分の生い立ちや昔の九戸村の様子などを話し、「今、皆さんと会うことが本当に楽しい。元気な体で、たくさん勉強してください」と卒業を間近にした児童にエールを送りました。

心温まるプレゼントをもらった児童は、「部屋に飾って大切にします」と笑顔でお礼の言葉を述べました。

「けっこうなお手前で」

長興寺保育園児がお茶会体験

3月3日、長興寺保育園で中野幸子さん（長興寺上）を先生に迎え、お茶会が行われました。

お茶菓子を食べ、きれいな絵が描かれたお茶碗で抹茶をいただいた園児たち。慣れない茶道の動作に少し緊張気味でしたが、お茶を一口飲むと「おいしい！」と満面の笑みを見せ、初めてのお茶会を楽しんでいました。



初めてのお茶会を体験した園児たち



松橋校長から卒業証書を受け取る卒業生

大きな夢抱き、それぞれの道へ

九戸中学校卒業式

3月13日、九戸中学校で卒業式が行われ、75人の卒業生が3年間親しんだ学び舎から旅立ちました。

式では松橋勉校長が「あきらめず努力すれば夢は必ず叶います。辛いこと、苦しいこともがあっても、自分の進む道を見据え努力してください」と新たな道を踏み出す卒業生を激励。在校生との合唱交換では、澄んだ歌声が体育館に響きわたっていました。

■長寿の誕生日を祝う

おじいちゃんおばあちゃん、
お誕生日おめでとう

2月から3月、長寿の誕生日を迎えた方に、岩部村長から花束と長寿祝い金が贈られました。お誕生日おめでとうございます、これからも元氣にお過ごしください！

- ①小川 タヨさん（折爪荘）
2月21日生まれ・99歳
- ②柴田 ハルさん（折爪荘）
2月26日生まれ・101歳
- ③松浦 繁蔵さん（戸田下）
3月15日生まれ・100歳



菅野 岑子
大らかに稜線流れ冬の山
冬山のひとつひとつに相のあり
行き行けど冬山続く旅なりし

むらの文芸

第263回くのへ俳句会

冬部 雪女
古草や亡夫と共に行く小道
村役場小さき雛の飾られて
病棟に散髪屋の来て春きざす

高島ふみ女
古草や一族の墓一ヶ所に
再会の余韻にふけるおぼろ月
耕人や土蔵崩れても尚励む

館村 青村
あつあつの目刺も旨し五穀飯
古草や一町程の放置畑
日向ぼこ大事なことを忘れけり

義也
足跡をなぞって帰る春の雪
一位の木たおやかに受くる牡丹雪

田村 畦畔
葬列に冷たき風や牙え返る
春の月立湯寝湯あり露天風呂
春光や旅情に浸る露天の湯

しげを
湯たんばや母が忘れて天国へ
鍋料理鱈のぶつ切り白牙えて

渡 赤藤
少々で足りる夕餉や目刺焼く
古草や根元に生命見え隠れ
食卓に際立つ色や春大根

古館やすお
竹に風目刺を炙る寓居かな
古草や昭和のサイロが二基並ぶ
骨尖る海魚を喰ふて多喜二の忌

【二月句会の席題句】

『二月』より
渦巻きて抜ける風呂の湯二月尽（ふみ女）
ニヶ月や薬屋の戸のごろごろと（やすお）
『日』より
現し世に佳き人ばかり日向ぼこ（青村）
一人居はテレビと過こす一日かな（義也）
『雑詠』より
氷上や命の鼓舞は神の技（しげを）
雪だるまおんぶをねたる児が二人（ふみ女）

■火災予防運動ポスターコンクール

村田海斗くん（戸田小） 特選受賞



火災予防運動ポスターコンクールで特選を受賞した村田海斗くん

第33回火災予防運動ポスターコンクールで、村田海斗くん（戸田小4年・受賞時）が特選を受賞しました。海斗くんは「一番頑張ったところは文字。火事が減

るようにという願いを込めて描きました」と話していました。海斗くんの絵は、平成22年火災予防運動のポスターとして、二戸管内に掲示されています。

■平成21年度商工会主催珠算検定

小沼碩士くん・白梅加奈恵さん 1級合格

平成21年度の珠算検定試験は年4回実施され、のべ24人が受験し、12人が合格を果たしました。難関の1級に合格したのは小沼碩士くん和白梅加奈恵さんの2人です。

【平成21年度・珠算検定試験合格者（敬称略）】

《153回》小沼碩士（1級）、菖蒲沢花穂（2級）、澤口加那子（2級）、下村かな子（7級）
《154回》野田朱里（2

級）、下村直香（2級）、上山春香（3級）、小沼侃士（3級）、下村かな子（6級）
《155回》下村かな子（5級）
《156回》白梅加奈恵（1級）、下村かな子（4級）



山根小4年（合格時）
小沼 碩士くん



九戸中1年（合格時）
白梅加奈恵さん

■歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール

関畑芽依さん・田澤裕也くん入賞



伊保内小6年（受賞時）
関畑 芽依さん



九戸中3年（受賞時）
田澤 裕也くん

歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール（岩手県歯科医師会主催）において、関畑芽依さん（伊保内小6年・受賞時）と田澤裕也くん（九戸中3年・受賞時）が佳作に選ばれました。

関畑さんは毎日の歯磨きできれいな歯を維持すること、田澤くんは8020運動をテーマにしたポスターでの受賞となりました。

◎ 8つの事務が県から村へ移譲されます

村では、村民のみなさんに直結したサービスの向上を図るため、県が行っていた事務を村が行うことができるよう、権限および事務の移譲に取り組んでおり、これまでにパスポートの申請・発給など28の事務を、村が処理できるようになりました。

平成22年4月からは左記の事務が県から移譲され、村で届け出や申請を受理し事務処理を行うことになりました。詳しくは担当窓口にお問い合わせください。

移譲事務の名称	移譲事務の概要	担当窓口
新たに生じた土地の確認、町・字の区域（名称）変更に関する事務	届け出の受理、告示、関係機関への通知	総務企画課庶務財政班
浄化槽の設置および保守点検などに関する事務	浄化槽の設置届の受理など	農林建設課水環境班
鳥獣の保護および狩猟の適正化に関する事務	鳥獣捕獲などの許可	農林建設課生産振興班
土地取引の届出および遊休土地に関する事務	一定面積以上の土地取引に係る届け出受理など	総務企画課地域振興班
身体障がい者であることの証明事務	郵便による不在者投票制度における対象者が所定の身体障がいに該当する者であることの証明事務	住民生活課地域福祉班
工場立地に関する事務	特定工場の新設等届出受理、変更届の受理	総務企画課地域振興班
保安林に関する事務	保安林内での間伐届出	農林建設課生産振興班
社会教育主事の資格認定に関する事務	社会教育主事の資格認定	教育委員会生涯学習班

《問い合わせ》九戸村役場（☎ 42-2111）各担当窓口

◎ すべての地方振興局が広域振興局に移行

Q なぜ移行するの？

岩手県を取り巻く環境は、人口減少、低い県民所得など、厳しい環境である上に、広域振興圏間の格差の拡大も懸念されています。これらの課題を克服するには、限られた行財政資源を戦略的に集約・再配分し、各広域振興圏で効果的かつ効率的な施策を展開できる体制の準備が必要です。このような考えのもと、平成22年度から、4広域振興局体制に移行することとしました。

Q サービスはどう変わるの？

① より充実したサービスの提供が可能に！

◆さまざまな産業振興の取り組みなどを一体的に進めること、広域的な対応をすること、より身近な場所で専門的なサービスを提供することが可能になります

② 県民の皆さんに身近なサービスは、できるだけ現在と同じ地域で提供します！

◆沿岸、県北圏域には、地域の産業振興のため地域振興センターを設置します
◆県税部門や保健福祉環境部門、土木部門は、現状と同様の体制とします

③ 各地域でのサービス水準を維持するよう努めます！

◆本局の職員がセンターに向向くなど、現在の地域で各種相談や申請などに対応します◆所管区域にかかわらず、どの窓口でも相談などを受け付けます◆本局とセンターの連絡を密にして、従来と同様のサービスを提供します



- …広域振興局本局
- ▲…部門ごとのセンター
- △…事務所または出張所

《問い合わせ》岩手県政策地域部政策推進室（調整担当）☎ 019-629-5195 FAX：019-629-5254

瀬月内イベント広場 かやぶき小屋の名称は “おらほのえっこ”



応募した名称が採用され、夏井瀬月内自治会長から賞状を受け取る下平さん

広報 11月号でも募集のお知らせをしていた、瀬月内イベント広場中央のかやぶき小屋の名称が決定しました。24点の応募の中から採用されたのは、下平チヨさん（瀬月内）が考案した“おらほのえっこ”。

2月21日には、瀬月内集落センターで、夏井謙一瀬月内自治会長から下平さんに賞状が贈られました。隣に建つ作業小屋は“んがほのえっこ”と名づけられ、“おらほのえっこ”と共に、地域活性の場としての役割が期待されています。



児童の体験学習の場としても活躍する瀬月内イベント広場(写真は5月7日の戸田小植菌体験)

◎健康保険証は水色のものを

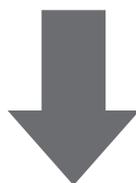
4月1日から社会保険事務局発行の健康保険証は使用できなくなります



岩手社会保険事務局

👉 4月1日以降使用できなくなる健康保険証（オレンジ色）

お持ちの人は事業主を通じて協会けんぽ支部まで返却してください（任意継続被保険者は直接、協会けんぽ支部に返却してください）。



平成21年6月～9月に、下の健康保険証（水色）を送りました



全国健康保険協会岩手支部

👉 4月1日以降も引き続き使用できる健康保険証（水色）

お持ちでない人は事業主を通じて協会けんぽ支部までお問い合わせください（任意継続被保険者は直接、協会けんぽ支部までお問い合わせください）。

- 診療を受けるときは、必ず健康保険証を提示してください。
- 70歳以上の方は、併せて高齢受給者証も提示してください。

《問い合わせ》協会けんぽ岩手支部（☎ 019-604-9009）



～イングランドでの研修を終えて～

海外派遣

九戸中学校2年 五枚橋興子

二月十八日は出発日でした。とても楽しみに、当日になって本当に嬉しかったです。緊張していた部分もありました。次の日は初めて飛行機に乗り、すごいという言葉しか出なかった。日本時間が気になり始めました。テルフォードにつくと、高橋夫妻が迎えてくださいました。

テルフォード日本人補習校を訪問しました。高橋校長先生講話では、日本人補習校の現状や、何を勉強しているのかなど教えてもらいました。近年、国際結婚が増加し、国際結婚夫婦の子どももいました。勉強している内容はあまり変わらず、補習校は土曜日のみなの

九戸村青少年海外派遣事業派遣団が、10日間（2月18日～27日）の海外研修を終え帰国しました。

今年度の派遣事業は、昨年春から世界的に流行した新型インフルエンザの影響により、例年の派遣時期と研修場所を変更し、英国・イングランドのテルフォードを主な研修地として実施されました。

今回の研修は、派遣受け入れ校となったテルフォード日本人補習授業校で勤務している本村伊保内出身の高橋（旧姓・山下）ミヤさん、ご主人で、補習校校長の高橋承造さんご夫妻の協力を得て実現したものです。主な滞在地となったテルフォードは、産業革命発祥の地とも言われるバーミンガムの近隣に位置していることから、産業革命関連施設の見学や現地での活躍する日本企業の訪問、またダーウィンやシェイクスピアゆかりの地を訪ね、現地での研修を終えました。

3月24日の報告会で発表された5人の派遣生徒の体験レポートを紹介します。

時間が足りないらしいのですが、工夫し宿題でやってくるというのは少なくないそうです。現地生徒との交流会では緊張しましたが、とても良い経験になりました。イギリスの学校のことや日本との違いなどを説明してもらったり勉強になりました。イギリスで初めて行ったレストランでは、量は多いけどとても美味しい料理でした。

世界遺産のアイアンブリッジは、二百年も前の人が初めて鉄でつくった橋でもとても趣があつてデザインも凝っていて、昔の技術は今の技術よりむしろ発達していたのではないかなと思うほどでした。なにより、朝は雪が積もった冬のアイアンブリッジと、昼は雪が溶け春のアイアンブリッジとなった両方を見られてとても運が良かったんだ、と思いました。街並みを散策するとき、昔の古い建物の方

が高いと聞きました。日本だと古くなると取り壊しなどはしますが、イギリスでは取り壊しなどほとんど無いそうです。古いものも大切に使い続けることには不便もあると思うけど、それでも大切にすることは良いことなんだと思います。約百年前からある建物もあり本当に物を大切に扱っていたことがわかりました。

海外で活躍する日本企業ではリコー社、マキタ社を訪問しました。とてもわかりやすく説明してもらい、海外で活躍するのはすごいことなんだと思いました。シェイクスピアの故郷にも行き、昔のイギリス人の暮らしもわかり、あまり詳しく知らなかったシェイクスピアのことについてもわかりました。やはりシェイクスピアの生家も子孫が代々受け継ぎ、大切に使い続けていたこともわかりました。

世界遺産、アイアン・ブリッジの前で



バーミンガムからロンドンにはバスで行きロンドンを視察しました。ロンドンでは、ロンドン塔が印象に残っています。とても大きく、本当に細かいつくりになっていて遠くまで鐘の音が聞こえました。大英博物館では、本当に回りがきれいなけれど、すごい作品や古代のものまであり、いつか全部みてみたいと思いました。

今回の海外派遣で自分はいつもの視点から少し違う視点で物事を考えられるようになったと思います。イギリスでは言葉が通じず大変な思いをしたこともありましたが、今回参加して本当に良かったと思います。



ダーウィンの故郷、シュルーズベリーで

海外派遣事業に参加して

九戸中学校2年 大崎 晴菜

家族と離れて八日間の異国の地での生活に不安と期待をよせて成田空港から十二時間、イギリスに行ってきました。

はじめに訪れた町テルフォードで一番感じたことは、「景色がきれいだなあ」ということです。住宅もお店も建物の全てがレンガづくりで、煙突がついていて、まるでおもちゃのシルバニアのおうちのようにでした。また、冬でも緑が多く、広い草原が遠くまで続いているのがどこかでとてもきれいでした。

日本との違いを大きく感じたのは食べ物でした。ホテルの朝食では、八日間ほとんど同じものしか食べませんでした。よく飽きないなあと思いに思いました。昼食・夕食はびっくりするほど量が多く、食べきれないは大変でした。また、イギリス料理はあまりおいしく

ないと聞いていたけれど、思っていたよりもおいしかったです。特に、補習校の子から教えてもらった「フィッシュアンドチップス」は有名なイギリス料理で、実際に食べておいしかったです。イギリスの町を歩いたり、電車に乗ったりして感じたことは、他の国から来ている人が多いということです。特に中国の人は観光で訪れている人が多く、イスラエル系の人は働いていて移民の人がたくさんいるように感じました。また、いろんな国から人が集まっていることで、人種差別もあることが分かりました。最後に泊まったホテルの朝食の時に、レストランでアジア系の人とヨーロッパ系の人に分けられて、そんなこともあるのなあと感じました。

日本との違いへの驚きもありましたが、イギリスの中でも日本を感じる部分もたくさんありました。街の中では日本語で書かれた看板もありました。回転ずしの店や雑貨屋さんの「無印良品」を見つけると、うれしくてつい写真を撮ってしまいました。また、世界で活躍する企業として「リコー」と「マキタ」さんの工場見学をさせてもらいました。海外でも日本の技術は認められていて知りうれしかったし、これからもっと日本が世界に進出してほしいなあと思いました。

一番驚いたことは、道にガムがたくさん落ちていてということでした。都会に行くほど数が多くなって、踏まないように歩こうと思うのですが、ロンドンではそれができない程でした。周りの人は全く気にしないで歩いていたので本当にびっくりして、マナーの違いを

感じました。

ストラトフォード・アボン・エイボンではイギリス人はすごいなあと思う場合があります。そこは、シェイクスピアの奥さんの実家なのですが、当時使用していた椅子などがそのまま残っていて先祖代々大切に受け継がれてありました。イギリスの人は家具や家などを大切にしている、物を大事に長く使う文化があり、日本にはないことなので見習いたいなあと思いました。

イギリスでの八日間は、見るもの全てが新

海外派遣事業に参加して

伊保内高校2年 笹木 健勇

一日目、二戸駅から成田空港まで行きました。その日は近くのホテルに宿泊し、明日からのことを考えると不安と期待が半々という感じでした。

鮮で二十四時間体験学習の日々でした。イギリスの生活文化や歴史、環境などいろんなことが学べてとても楽しかったし、本当に勉強になりました。でも、時差で眠かったり、慣れないホテルでの生活や食べ物などの日本との違いは大変でした。日本に帰ってきて本当にほっとしたし、母国のありがたさを改めて感じる事ができました。

今回の海外派遣の体験から学んだことをずっと忘れずに、これからの将来に生かしていきたいと思います。

二日目、成田空港からデンマークのコペンハーゲンまで飛行機で10時間。10時間も連続して乗ったことはなかったので、なんだか楽しかったです。コペンハーゲンから乗り継いでイギリス、テルフォードへ。高橋ご夫妻とお会いし挨拶をしました。やさしそうな方であんなにうれしかったです。弁当もいただいて、とてもおいしかったです。

三日目、テルフォード補習校へ行き、高校生と交流をしました。普段は現地の高校へ行き、英語で授業を受けているそう。英語で授業なんて考えられないと思いました。皆さん積極的に話してくれてうれしかったです。現地での生活の事や学校の事、たくさん教えていただきました。とてもいい勉強になったと思います。九戸村もすっかりPRしてきました。

四日目、アイアンブリッジを見ました。初めて鉄で作られた橋。二百年前に作られた物



リコーUK社での研修

が今も大切に使われているということに感動しました。また、橋から見る景色はすばらしかったです。自分も、古いものも大切に使うて長く使っていくような精神が必要だと思いました。

五日目は企業訪問でした。リコーさんとマキタさんへ行きました。リコーでは千二百万円のコピー機を見させていただきました。そんなに高いコピー機があるなんてびっくりしました。マキタでは、振動の少ない製品が特長だということを知りました。海外に進出している会社の多さに驚きました。海外での生活は大変なのですが、人生の中で一度あるかないかの経験だから海外で頑張っているのだそうです。私もそう思っこの事業に参加したのだと再確認できました。

六日目、シェイクスピアの妻の実家へ行きました。実際に住んでいたことが分かり感動しました。シェイクスピアの生家にも行きました。



シェイクスピアの生家を見学

した。生まれた家があるのはすごいと思った。なんだか鳥肌が立ちました。

七日目、ロンドンへ到着しました。二階建てのバスを見ることができてよかったです。建物にはローマのドリア式の建物などがありました。海外にきたなあという感じがしました。楽しい一日でした。

八日目は大英博物館へ。ミイラやモアイ、アウグストゥス、教科書の中の物がそこにあつ

たくさんのお思い出

伊保内高校2年 笹川 美紀

私はこの海外派遣に参加して本当に良かったと思っています。10日間という短い期間でしたが、私はたくさんの人からたくさんのお話を学ぶことができました。海外派遣を終えて今思っていることは、今度は家族と行きたいなあということです。

私が一番最初に感動したことは、テルフォードの町の風景です。移動中のバスから見た風景は、レンガの家やすごく広い草原、放牧されている馬や羊たちが沢山いて、とても綺麗な風景で感動しました。その風景は今でも忘れているくらい、心に残っています。

私達がテルフォードについて最初に訪問したところは、テルフォード日本人補習校というところです。ここでは、小学生から高校生までの生徒と一緒に歌を歌ったり、学年ごとに分かれて授業をしたりしていました。私達は、昼休みの時間を借りて岩手県の九戸村

た。感動しました。歴史に興味を持つことができました。

全体を通して、ホームステイはなかったけれど、買い物や時などで店員と会話したり、スーパーで物の場所を聞いたりしてしっかり英語を使うことが出来たのが良かった。自分からこの事業に参加して本当に良かったと思っっています。

とはどういうところなのかを丁寧にプレゼンテーションしました。思った以上に沢山の人が見に来てくれて、とても嬉しかったです。昼食を食べ終わってから、中学・高校生と交流会をしました。高校生どうしでは、進路や日常生活のことを話したりしてすごく楽しかったです。その他に、高橋校長先生と高橋ミヤ先生の講話を聴きました。ミヤ先生は伊保内出身ということで昔の伊保内の話や自分の体験話を沢山聞かせてくれました。私達とは初対面なのにすごく親切にしてください、とても安心しました。昼食はミヤ先生の手作りのお弁当でも美味しかったです。

世界遺産であるアイアンブリッジは予想以上に景色が綺麗で驚きました。最初は雪が積もっていましたが、すぐに晴れて雪が解けて良かったです。雪が積もっているアイアンブリッジと、雪が溶けた後のアイアンブリッジを見ることができました。どちらもすごく綺麗でした。

私の研究テーマは、リコー・イギリス社についてでした。ここでは、生産品、取引先



補習校では九戸村をPR

社員の人数などを調べてきました。リコーで働いている日本人の方々が社内を詳しく説明してくれました。働いている方々は明るくて優しい方々ばかりでもとても良い雰囲気を感じました。国際的規模で活躍する日本企業を調べることができて良かったです。これからの進路を考える上で参考にしていきたいと思いました。

見学学習では、ダーウィン博物館、石炭博物館、エジソン博物館、シェイクスピアの生家、ウォーリック城が楽しかったです。他にも沢山の見学場所に行きましたが、中でもこの5ヶ所が楽しかったです。イギリスの歴史を肌で感じる事ができて本当に良かったです。

最後に、この海外派遣を支援して下さった皆様のおかげで私は貴重な体験をすることができました。この体験を無駄にしないように、これから生活をしていきたいです。本当にありがとうございました。

Recommend books

★黄金のロザリオ

鈴木由紀子 著 (幻冬社)



殺せない、しかし、殺さねばならぬ…母に毒殺されそうになったあげく、弟を誅殺した奥羽の覇者、伊達政宗。母、義姫の陰謀は本当にあったのか？ 天下取りの野望を秘め海外への雄飛を夢みた独眼竜の大勝負。新説伊達物語！

★いおがみ 魚神

千早 茜 著 (集英社)

生ぬるい水に囲まれた孤島。そこには、政府によって造られた大遊廓があった。美しき捨て子の姉弟、白垂とスケキヨは、互いのみを頼りに生きてきた。離れ離れの姉弟をはじめ人々の情念と島の伝説が織り成す、新感覚幻想小説！



★たろうのおでかけ

村山 桂子 作 (福音館書店)



たろうくんのおでかけの話です。今日は、まみちゃんの誕生日プレゼントを持ってまみちゃんの家へでかけます。でも、ふざけておこられ、横断歩道をわたらないでおこられ、たろうくん、あぶないよ！ 新入学、新入園、交通安全のお話と一緒に読みたい絵本です♪

★9.11のジャスミン

遠藤 明子 著 (朝日クリエ)

夢を追ってニューヨークに渡り一人暮らしを始めた女性が、2001年9月11日、ニューヨーク中心部にある巨大高層ビルに2機の飛行機が突っ込むという歴史を揺るがすテロ事件に遭遇した。生きることの苦しさ、辛さを、乗り越えながら生き抜く喜びを知った。



イギリスでの驚き

伊保内高校2年 関口 友紀

私は今回の海外派遣で初めてイギリスに行きました。イギリスでの8日間はとても楽しくて、驚くことがたくさんありました。私が特に驚いたことは2つあります。

まず一つは食べ物です。私たちは毎朝ホテルで朝食をとりましたが、おかずはしょっぱい味付けが多いし、野菜はほとんどありませんでした。そして目玉焼きを作っているところを見て私はビックリしました。なんと卵を油の中に割り入れて、まるで揚げ物のように目玉焼きを作っていたのです。毎日こんなにバランスの悪い食事をしていたら病気になってしまうんじゃないかと思えます。また、高橋ご夫妻と一緒にレストランで夕食を食べた

時のことです。レストランではいつも初めにスープを食べてその後メインが出てきます。私はスープとスープについてきたパンだけで少しお腹がいっぱいになりましたが、メインも食べられるだろうと思っていました。でも出てきた料理を見て「こんなの絶対食べきれない」と思いました。その時私が頼んだ料理は何かの魚のフライでしたが、その量と大きさに驚きました。魚は分厚く、20cmはあるんじゃないかと思うほど大きかったです。一緒に付いてきたグリーンピースは日本じゃ想像もできないほどお皿に山盛りに入っていました。その見た目の多さだけで私はお腹いっぱいになってしまつて、結局半分も食べることはできませんでした。ですが、イギリスの人たちはみんなこの量を1人で食べるときいて驚きました。だからイギリスの人達は体が大きいのかと思いました。



補習校の授業を見学

次に私が驚いたことは「ガム」です。テルフォードの日本人補習校を訪問したとき庭のあちこちにたくさん白い斑点がありました。はじめは気づかなかつたし、あまり気になりませんでした。でもその白い斑点がすべてガムだと校長先生から聞いてとても驚きました。その大量のガムは化石のようになっていて、もうガムだということが分らないほどでした。

た。学校の中にも机の裏にガムがはつてあったり、机と机の間にゴミが挟まっていたりしました。学校だけではなく街の道路にもたくさんガムの白い斑点がありました。私は、イギリスはとても綺麗な国だと思いません。自然は豊かだし、レンガ造りの家はとてもかわいいと思うからです。それなのにたくさんガムでこんなに綺麗な国を汚しているなんてもったいないと思いました。日本だったらこんなにガムが捨ててあるのを見ることはないの、驚きました。私は海外派遣でイギリスに行くまで日本が一番良い国だと思っていました。今まで海外に興味はありましたが怖いというイメージがとても強かったです。ですが、実際にイギリスに言つて私は日本と同じくらいイギリスが良い国だと思うようになりました。ですから、絶対にまたイギリスに行きたいと思いました。

食べたら、からだを動かそう

私たちは、体重が増えたあとか、減ったあとでびっくりしたり、喜んだりしていますが体重が多いことと肥満は別ものです。肥満とは、からだをつくっている脳や内臓、骨格、筋肉、脂肪組織、血液など、組織全体に占める脂肪組織の割合（体脂肪率という）が正常とされる値よりも高すぎる状態をいいます。目安として大人の体脂肪率は男性で25%、女性では30%を超える場合を肥満としています。

見かけの肥満：スポーツ選手や仕事などで活動量の多い人は、特に骨格や筋肉がガッチリしていて体重が多くても体脂肪率は正常であることが多いです。一方、日常生活で運動不足の人にとっては、細身であっても逆の状態であったりします。

また、**体重の減少=体脂肪の減少とは限りません**！無理な食事制限をしていると、体脂肪よりも先に骨や筋肉

組織を消耗し体重は減少しますが、肝心の体脂肪は減らずにむしろ高くなってしまいます。**からだの脂肪を減らすには**、すぐに息が上がってしまうような激しい運動では、脂肪は燃焼しないので軽く汗ばむ程度の速歩きをおすすめします。歩き始めて15～20分くらいの間は主に糖質がエネルギー源として燃焼しますが20分を過ぎると糖質と脂肪が約半々となり、その後は次第に脂肪の燃焼する割合が上昇します。食べたら身体を動かすことで、余分な脂肪を燃やしましょう。

（臨時栄養士 白梅 愛子）

◎これだけ食べたら、これだけ運動しましょう

160kcal に相当する食品 (食品の量は大体の目安)		160kcal を消費する運動 (体重 60 kgの男性の目安)	
ご飯軽く 1 杯	100 g	普通歩行	80 分
ビール 1 缶強	350ml	急ぎ足	50 分
大福もち 1 個	70 g	体操	45 分
ウインナー小 3 本	50 g	サイクリング	45 分
柿ピー	30 g	階段昇降	35 分

◎国保だより

国保の届け出は 14 日以内に

国民健康保険（国保）は、職場の健康保険（健康保険組合や共済組合など）に加入している方や後期高齢者医療制度で医療を受ける方、生活保護を受けている方以外のすべての方が加入する制度です。就職や退職で職場の健康保険に加入または脱退したとき、国保に加入している人の住所が変わったときなどは、できるだけ早く役場の窓口で手続きを行ってください。

■正しい保険証で受診を

他の市町村へ転出したり、職場の健康保険などに加入したりしたときは、国保の保険証を返していただくこととなりますので、ただちに保険証を持参して役場の窓口で手続きをしてください。

手続きが遅れ、国保の保険証で診療を受けてしまう方がいますが、その場合は他の保険との保険料の二重払いとなり、精算や返還に無駄な時間がかかってしまいます。また、高額医療費の支給も遅れてしまいますし、国保が

負担した医療費を全額返していただくことにもなりかねません。

下記のような異動がしようじたときは、できるだけ早めに届け出をして、正しい保険証で受診しましょう。

■保険証は大切に

保険証は医療を受けるときに使用するだけでなく、身分証明書ともなる大切なものです。もし紛失したり盗難にあったりしたときは、すぐに警察や役場の窓口へ届け出てください。

国保にはいるとき	持参するもの
転入してきたとき	転出証明書
職場の健康保険をやめたとき	職場の健康保険をやめた証明書
生活保護を受けなくなったとき	保護廃止決定通知書
子どもが生まれたとき	保険証、母子健康手帳
国保をやめるとき	持参するもの
転出するとき	保険証
職場の健康保険に入ったとき	国保と職場、両方の保険証
生活保護を受けるとき	保険証、保護開始決定通知書
死亡したとき	保険証、死亡の証明

春の全国交通安全運動

◆運動期間 4月6日(火)～15日(木)

◆運動の重点

- ① 子どもと高齢者の交通事故防止：子どもと一緒に通学(園)路を歩きながら、危険な場所などをチェックし、安全な通行方法を教えましょう。高齢者の交通事故は、道路横断中に多く発生しています。横断前だけでなく、横断中も安全を確認しましょう。
- ② 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③ 自転車の安全利用の推進：自転車も車の仲間です。交通ルールとマナーを守り、安全に利用しましょう。
- ④ 飲酒運転の根絶：飲酒運転は、悪質な犯罪です。ドライバー自身が「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」ことを徹底し、家庭や職場、地域でも「飲酒運転をしない、させない」環境を作り、飲酒運転を根絶

しましょう。

春の地域安全運動

◆運動期間 4月6日(火)～15日(木)

◆運動の重点

- ① 子どもと高齢者の安全対策の推進：県内では、依然として声かけ事案が発生しています。
- ② 「鍵かけの実践」による被害防止対策の推進：夜間や外出時は、必ず戸締りをしましょう。
- ③ 地域の危険箇所点検の実施：通学路、公園などの点検をして、必要な改善を行きましょう。

【2月の交通事故】()内は1月からの累計

● 人身事故	：	0件(0件)
● 物損事故	：	5件(16件)
● 死亡者	：	0件(0件)
● 負傷者	：	0件(0件)
● 飲酒運転検挙者	：	0件(0件)
● 交通死亡事故ゼロ日数	：	150日

◎火事と救急、救助は119



☎二戸消防署九戸分署 ☎42-3119



つけましたか？
住宅用火災警報器

早期の設置で、住宅火災から大切な命・財産を守りましょう！

■新築住宅…平成18年6月1日から

■既存住宅…平成23年6月1日までに

すべての住宅に火災警報器などの設置が義務づけられました。設置場所は寝室と寝室のある階の階段上部です(わからないときは九戸分署へお問い合わせください)。

●消防署が直接販売することはありません。近隣の電気器具販売店、ホームセンター、消防設備機器販売店などで購入できます。また、義務化に便乗した悪質な訪問販売には十分注意しましょう。

【2月の火災・救急】()内は1月からの累計
昨年比

- 火災 … 1件(1件) + 1件
- 救急 … 13件(51件) + 17件

◎国民年金だより

退職(失業)による特例免除制度

厚生年金に加入していた人が20歳以上60歳未満で退職(失業)すると、国民年金の第一号被保険者になるための手続きを行い、月額1万5100円の保険料を納めることになりません。一方、保険料を納めることが経済的に困難な人には、申請によって保険料の納付を免除される制度があります。

■退職(失業)時の特例免除制度

免除申請する年度や、その前年度で退職(失業)した人は、特例免除制度を利用できます。

■手続き

特例免除の申請には、役場へ「国民年金保険料免除申請書」を提出する必要があります。手続きに必要なものは、①年金手帳または納付書など基礎年金番号がわかるもの②認め印③失業していることを確認できる公的機関の証明の写しです。

■被扶養配偶者の人

厚生年金加入者の20歳以上60歳未満の被扶養配偶者の人は、配偶者の退職(失業)によって、第三号被保険者から第一号被保険者にかわり、保険料の納付義務が生じます。この被扶養配偶者だった人も、配偶者の人が退職(失業)時の特例免除に該当すれば、同時に免除申請をすることによって、免除が認められることになっていきます。

☎住民生活課国保住民班 ☎42-2111 内線212



家族ふれあいデイ：折爪
荘利用者の家族が施設を
訪れる、1年に1度の「家
族ふれあいデイ」。利用
者は、毎年恒例となっ
ている平成会（二戸市）の
歌や踊りを家族と共に楽
しましました。（3月14日）

①岩手県在住の20歳以上65歳未満の人（4月1日現在）

②調査審議する内容に関して十分な見識を有している人

③年2回、平日に盛岡市において開催される審議会（会議）に出席できる人

■応募方法

(1)提出書類

①応募申込書兼履歴書1通

②作文（テーマ「生涯学習および社会教育について思うこと」（標題自由）「800字程度 様式任意」

(2)受付期間

4月1日（木）～4月30日（金）

(3)提出方法

郵送、持参、FAX、電子メール

■申し込み・問い合わせ

岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課・生涯学習担当

☎019-629-6176

お詫びと訂正

広報くのへ3月号4ページの「宮川奈央」さんの字は、正しくは「宮川菜央」さんでした。お詫びして訂正します。

多重債務者弁護士無料相談会

◎多重債務でお困りの方、無料相談会を利用してみませんか？まずは予約のお電話を。

■日時 4月20日（火）
午前10時～午後3時

■場所 二戸消費生活センター

■申込み 二戸消費生活センター
☎23-5800

村のこよみ

9	金	デイケア(9:30～保健センター)
10	土	くのへパークゴルフ場オープン(予定)
17	土	クリーン九戸行動日(9:30～村内一斉)
18	日	春の大掃除点検、火防点検(9:00～村内一斉)
19	月	胃がん検診(6:00～村内巡回、23日まで)
20	火	乳児健診(13:30～保健センター)
24	土	「やまびこ」読み聞かせ会(10:00～公民館図書室)
25	日	胃がん検診(6:00～村内巡回)
26	月	ぽっかぽか教室(9:30～保健センター)
29	木	九戸村消防演習(戸田小学校校庭)
30	金	軽自動車納税期限・固定資産税第1期納期限

当番医

《当番医》診療時間：午前9時～午後5時	
4	日 むらかみ医院いたみのクリニック ☎48-1500(軽米町)
11	日 よこもり眼科クリニック ☎22-2230(二戸市)
18	日 千葉耳鼻咽喉科医院 ☎23-2009(二戸市)
25	日 小野寺クリニック ☎46-2822(軽米町)
29	木 おりそ内科循環器クリニック ☎22-2251(二戸市)
《当番歯科医》診療時間：午前9時～正午	
4	日 三澤歯科医院 ☎23-2445(二戸市)
11	日 小野寺歯科医院 ☎33-3050(一戸町)
18	日 ムカイダ歯科クリニック ☎46-4636(軽米町)
25	日 渡辺歯科医院 ☎23-2052(二戸市)
29	木 森川歯科医院 ☎23-6361(二戸市)

ごみ収集日

収集区域	燃えるごみ	ビン・金物	空き缶	粗大ごみ	紙・プラスチック
瀬月内～二ツ家	(毎週水曜日) 7・14・21・28	5	19	13	8
鹿島～南田	(毎週木曜日) 1・8・15・22	6	20		14
小倉～細屋	(毎週金曜日) 2・9・16・23・30	12	26		22

◎ビン…(リサイクル用を分別)透明、茶色、その他、リサイクルしないビンの4種類に分ける
◎空き缶…(リサイクル用を分別)飲料用の空き缶、スプレー缶、カセット式ボンベをひとつにする
◎紙・プラスチック類(リサイクル品のみ)…新聞紙、雑誌、ダンボール、飲料用紙パック、ペットボトル(♻と表示)、発泡スチロール(食品トレイなど)の6種類に分ける
※指定日の朝8時30分までに、指定の袋で出しましょう。

お知らせ

KUNOHE INFORMATION

スナッフくのへ♪



住宅リフォーム助成 商品券最高10万円

村では村民の住環境の向上および村内の商工業の活性化を図ることを目的に、住宅のリフォーム事業を村内の事業者によって行う場合に要した経費に対し、予算の範囲内において商品券を交付します。

■対象者・対象住宅

- ①村内の事業者によって施行される工事であること。
 - ②村内に住所を有すること。
 - ③村税その他村に対する債務を滞納していないこと。
 - ④その他の補助金などを受けていない住宅の部分。
 - ⑤過去にこの助成を受けたことがないこと。
 - ⑥床面積の2分の1以上を有し、かつ、自己または自己と生計を一つにする親族が床面積の2分の1以内を居住の用に供している村内に存する個人所有の住宅とする。
- ※着工前に申請が必要です。

■対象工事

- ①対象住宅のうち交付対象者が所有し、かつ、居住する部分の工事であること。
- ②申請のあった年度内に着工し、かつ、当該年度内に完成する工事であること。
- ③対象工事経費が30万円以上のもの(他の助成などを受けている場合はその部分を控除します)。

《商品券交付対象外の工事》

外構、植栽工事など、一部対象外の工事がありますので詳しくはお問い合わせください。

合わせてください。

■商品券交付額

- ①対象工事経費の10%以内で、10万円を限度とします。
- ②商品券の交付は一度に限ります。
- ③村内で使用できる商品券を発行します。

《住宅建設助成事業商品券最高10万円》

村内の建設工事業業者によって行う場合に要した経費に対し、予算の範囲内において商品券を交付します。

■対象者・対象住宅

- ①村内の事業者によって建設する個人住宅であること。
- ②村税その他村に対する債務を滞納していないこと。
- ③その他の補助金などを受けていない住宅の部分。
- ④年度内に着工し完成すること。

■商品券交付額

- ①10万円
- ②村内で使用できる商品券を助成します。

■申し込み期限 9月30日(木)

■申し込み

役場農林建設課地域整備班

(☎42-2111 内線283)

地震にそなえて わが家の診断を

村では、木造住宅の地震に対する安全性を確認し、震災に強いまちづくりを目的に、耐震診断士を派遣し、耐震診断を行う木造住宅耐震診断支援事業を実施します。

■費用 建物所有者負担金 3,000円
(耐震診断費用 30,000円)

■助成対象

村内の木造住宅で次の要件を満たす建物が対象となります。

- ・昭和56年5月31日以前に着工された在来軸組工法(軸組工法・伝統的工法)
- ・平屋建てまたは、2階建ての戸建て住宅
- ・昭和56年以降に増築など(10㎡以上)を行った場合は対象外となります。

■募集件数 3件(先着順)

■受付期間

5月6日(木)～11月30日(火)

《耐震改修への補助》

耐震診断の結果、総合評価が1.0未満の住宅で耐震性を向上させるための補強工事を行う場合、補強費用の一部として60万円を上限として補助します。

■申し込み

役場農林建設課地域整備班

(☎42-2111 内線283)

県生涯学習審議会委員 兼社会教育委員を公募

岩手県生涯学習審議会委員および岩手県社会教育委員の一部を、公募します。生涯学習審議会委員および社会教育委員は兼務となります。

■募集人員 1人

■任期 委嘱の日から2年間

■報酬など

会議に出席した際、岩手県の規定により報酬および旅費を支給

■応募資格

次のすべてに該当する人。

人の動き

(平成22年3月1日現在)

●人口	6,724人(−9)
男	3,268人(−5)
女	3,456人(−4)
●世帯数	2,180世帯(+1)
	(カッコ内は前月比)
転入	3人(9人)
転出	9人(20人)
出生	4人(5人)
死亡	7人(21人)

(カッコ内は1月からの累計)

編集室から

◆気づけば花の芽が顔を出していて、春だなーと実感しています。新しい生活がスタートする人は、どきどき・わくわくする季節ですね◆初めて一眼レフカメラを持って、九戸中学校の入学式に行った日からもうすぐ1年。今年度もどうぞよろしくお祈りします^^ (尾友)



「悪質商法」にだまされないで 生涯学習アカデミー・女性教室閉講式

昨年の6月に開講し、創作活動・講演会・研修旅行などの活動を行ってきた生涯学習アカデミーと女性教室は、2月24日、HOZホールで閉講式を迎えました。

閉講式には、受講生65人が参加。式中に行われた記念講演では、二戸地方振興局の下斗米淳子さんが「悪質商法の手口とその対処法について」の演題で講演を行いました。

下斗米さんは、高齢者が騙されやすい悪質商法の手口と予防法を紹介。また、消費者トラブルに遭う危険度がわかる「だまされやすさ心理チェック」を行うなど、参加者の防犯意識を高めました。

◎写真…二戸地方振興局の下斗米淳子さんによる記念講演。

しるばー・しーと

264

平成22年度 第1回 九戸村の歴史を学ぶ

九戸眞樹さん 特別講演会 「九戸家に伝わる話」

- 日時 4月18日(日)午後1時30分から
- 場所 HOZホール
- 入場料 無料 ※会場および資料準備の都合により、事前にお申し込みをお願いします。
- 主催 九戸村教育委員会
- 問い合わせ先 九戸村教育委員会 (☎42-2111 内線304)